

## 第2回 静岡県観光基本計画策定懇話会 議事録

日時	令和3年11月15日(月)
場所	静岡県庁別館9階特別第一会議室(WEBと併用での開催)
出席者	<b>【委員】</b> (50音順、敬称略) 飯倉 清太、大石 人士、加藤 久美、加藤 賢二、高山 靖子、 トニー エバレット、三井 いくみ、村山 慶輔、望月 宏明、 八木 健祥  <b>【事務局】</b> スポーツ・文化観光部理事(観光担当) 西宮 寿和 観光交流局長 都築 直哉、観光政策課長 川口 茂則 観光振興課長 山田 司、観光政策課企画班長 笹松 光普(司会)

### 《次期「静岡県観光基本計画」の概要説明》

川口観光政策課長から、事務局説明資料に基づき、次期「静岡県観光基本計画」の事務局案について説明した。

### 《各委員からの意見等》

事務局からの説明に対して、各委員から、以下の内容の御意見があった。

#### 【飯倉委員】

計画自体はこれで良いので、あとはディテールをどう作っていくのかだと思う。

最近若者たちはどこかに行った時に、グーグルでは検索せずインスタを使うので、インスタに上げたくくなるような、風景や食べ物をこちらが作って、みんなにあげてもらえるようにしていかなければならない。

ワーケーションに求められるものは、自然や温泉などがあるが、かなり強力なWi-Fiがない限り選ばれなくなる。湯河原の万葉公園は空間デザインが飛び抜けており、こういうものを作ると人が集まってくると思った。

#### 【大石委員】

県の総合計画の方向性からみても、SDGsへの取組と一致した流れができているので良いと思う。

心の豊かさと経済成長を両立させていくのがSDGsの世界だと思うので、具体的な施策を進めて実現していただきたい。

2025年は大阪万博の年なので、インバウンドだけではなく、国内観光の誘客方針も大きく変わっていく思っており、随時見直しをかけながらやっていくことが大事かと思う。

#### 【加藤久美委員】

「心の豊かさ」と「持続可能な地域づくり」という概念が、もう少しSDGsと結びつけば良いと思う。SDGsの5つのPの1つが豊かさ(prosperity)

であるため、うまく図で見せられないかと思った。

鍵括弧付の言葉が多く出てくるが、ビジョン的なものを強調した書き方になると良い。

持続可能な観光ガイドラインをどう活用していくのかがはっきりと見えなかったので、どう活用されるのかが気になった。

### 【加藤賢二委員】

基本計画は、よくできてると思う。地域への誇りが大切なので、地域一丸となってやっていきたい。

温泉の活用については、成果が出るようきちんと取り組んでいただきたい。

駿河湾フェリーは付加価値を高めていただくとともに、二次交通の充実についてはしっかりと取り組んでいただきたい。

### 【高山委員】

SDGsと観光とがどう結びついていくのか具体性があれば良いと思う。もう少し噛み砕いた訴えをしてもらえると県民の皆様に伝わると思う。

イズミルには、温泉のホテルがあり高齢者の方々がフェリーに乗ってきて長い時間をバカンスで過ごされる。伊豆は、フェリーもあり、そういった観光とは大変相性がいいと感じている。メディカルツーリズムについても、医療等の関係で難しい部分もあるかとは思いますが、検討してみてもはどうだろうか。

また、イズミルは、温泉地と観光地が離れていて、観光に来た方々は車を使わなくても移動できるように、バスに加えてライトレールを整備しており、区域は全部Wi-Fiを飛ばしてどこでも情報観光情報を拾えるようになっている。そういったものをセットで整備していかないと観光客は不便と感じると思う。

旅前の人たちをどのようにキャッチしていくかについて、バーチャルツアーと静岡の産品を結びつけて、誘客に結びつけるという施策が考えられる。また、ふるさと納税の返礼品をバーチャルツアーにして、それぞれの市町を紹介していくという取組をすれば、それほどコストもかけずに興味を持ってもらえるのではないか。

### 【トニー委員】

基本的には計画はよくできてると思う。

伊豆のオリンピックのコースを一般客に提供できるのであればありがたい。

空港に新幹線の駅ができれば役割が変わってくると思う。

南北との取組よりも、箱根や東西（東海道）の取組の方が静岡の強みであると思う。

アドベンチャーツーリズムはTSJとしても力を入れていくつもりである。

### 【三井委員】

サステナブルなツーリズムメニューがあるかといったオーダーを多く受けるが商品はたくさんある。しかし、例えば交通インフラや宿泊施設など突き詰めていった場合、ツアー全体が本当にサステナブルなのかは中途半端な部分があると感じている。認証制度などで、わかりやすい数値化した目標値を設けるこ

とができれば良いと思う。

サステナブルについて実証実験レベルからになるとは思いますが、県内全体で何かやるといふムーブメントが起きるといいと思う。

連携という言葉が多く出てきているが、単体の事業や商品はものすごく多くできているが単発である。県内DMOが連携してプロモーションするなど、県内連携を徹底して、観光客が県内にとどまることができるようになれば良いと思う。

#### 【村山委員】

旅行消費額8,000億円は、インバウンドと国内の内訳は持っておいた方が良い。成果指標と活動指標が関連付いていないように見えるので、整理したほうが良い。

SDGsを打ち出すのは大切だが、活動レベルで取組を図るものがない。施策レベルでは指標を設定されると思うが、活動指標レベルに入れてもいいと感じている。

DXについては、施設情報などの静的データは、メンテナンスが結構大変なので、事業者の方にメリットを感じていただかなければならない。また、繁閑差を打開するためのデジタル技術の活用という視点を入れられるといいと思う。

#### 【望月委員】

静岡版のサステナブルツーリズムはどこを重点的に取り組んでいくのかが分からないので、日本版との差別化や関連性を明確にする必要がある。

フジノミクスについては、具体的に何をするのか説明をきちんとする必要がある。

成果指標と活動指標の関連性をはっきりとさせたほうが良い。

#### 【八木会長】

日本の人口推移を考えると観光産業として存続できるのかという問題があるので、若い人材を今から投入しておかないと間に合わないと思う。

持続可能な地域社会ということを考えたとき、静岡県で業として成り立つだけの人的なものを含めた基盤が確保できるのかというのが非常に気になる。

静岡県立大学・文化芸術大学で3年前、観光コースを作った。この学生を観光業に投入したい。

実行部隊はDMOになるので、DMOがいかにそれぞれの地域でマーケティングに基づいたデータ分析を行い、独自性を発揮して具体的な経営戦略を出せるかが重要であり、そのためにはマンパワーが必要である。

DMOは、自主財源を確保していかなければいけない。入湯税の引き上げや宿泊税の導入などを行い、自然保護や経営管理などに必要なお金を確保していくことが持続可能な観光につながる。

インスタで美しい風景だけを見ても行きたいと思わない。インスタで人がどういった活動やどんな楽しみ方をしているかが分からないと、行こうという気にならない。

## 《事務局からの補足説明》

### 【川口課長】

心の豊かさと地域社会の実現については、概念的に大きいところなので、深掘りし、一般の皆様方にわかりやすいような表現について工夫していきたい。また、言葉の統一等についても整えていく。

静岡県のサステナブルツーリズムとはどんなものかという意見もあったが、持続可能な観光地域づくりについては、まずは成功事例を作る、モデル事業から実施していきたいと考えている。モデル事業を実施していく中で、静岡でのサステナブルツーリズムというものをどのようなものであるのかというようなものは整理が必要だと考えているので、持続可能な日本版のガイドラインを使いながら、静岡の今の観光の実情に合わせるとどのような水準がいいのかなど深掘りして考えていきたい。

8,000億円は全体の目標である。内訳としてインバウンドの試算はしているが、整合がとれるように精査していく。

## 《意見交換》

### 【加藤賢二委員】

サイクルツーリズムの推進のためには、道路整備や危険地帯の情報発信などの施策が必要。

### 【飯倉委員】

小泉環境元大臣が、今までは、SDGsをやっていることがプラスになったが、これからは、やってないところはマイナスになりますっていうご発言をされていた。

SDGsでやっていますと言うだけでは、日本中でやっているので、静岡県が選ばれないと思う。SDGsの中で、ESGなどを考えていけるような組織や会議体を作ることができれば良いと思う。スマートシティの観光地が1個できると静岡は先進的という話になるので、民間とディスカッションを重ねて投資を促すような動きをしていった方がいいと思っている。

### 【加藤久美委員】

官公庁の事業としてJSTS-Dを導入するモデル地区事業を行っている。サステナビリティコーディネーター的なポジションの人材が今後必要になってくると思われる。

### 【大石委員】

大都市圏のある東西に向けた取組は今までもやってきており、今後も充実させていかなければならないが、コロナを踏まえて、中部横断自動車道や清水港、静岡空港と結びつけながら、今までなかった南北の地域交流圏を作るという一つのモデルを進めていければと思う。

駿河湾フェリーは、今の航路だけではなく、お客様が望みそうな航路も組み込んでいければいいと思う。また、洋上で、静岡の食材をたくさん美味しく食べるというような作り込みも大切である。

### 【村山委員】

今どこの地域でもSDGsと言っているのですが、静岡ならではの差別化がポイントである。認証制度を含め、どれぐらいの取り組みをやっているのか可視化されるのが大切。

DXとふるさと納税を活用したアイデアはとてもいいと思う。

### 【三井委員】

浜名湖館山寺の象徴であったホテル九重の閉館は非常に残念であるが、エリアリノベーションで未来に向けてどういう地域にしていくかを前向きに考えていかなければいけない。

既存建物を活かした施設整備や周辺景観との調和した施設整備は、官民一緒に地域全体で進めていただきたい。

### 【高山委員】

SDGsはもう浸透していて当たり前なので、その中でどうやって頭一つ出していくのかというのが、ポイントになる。